



大幸薬品

2025年12月期(FY2025) 連結決算報告

2026年2月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

1. 2025年12月期 連結決算業績

2. セグメント別事業概況

3. 通期業績予想と実績値との差異

4. 次期の業績予想と今後の取り組みについて



1. 2025年12月期 連結決算業績

- 医薬品事業における堅調な需要と感染管理事業の増収により売上高は増加
- 営業利益・経常利益は前期比で減益となったものの、業績は計画を上回る水準で着地

※2026年2月13日に「通期連結業績予想と実績値との差異(上方修正)」を開示済

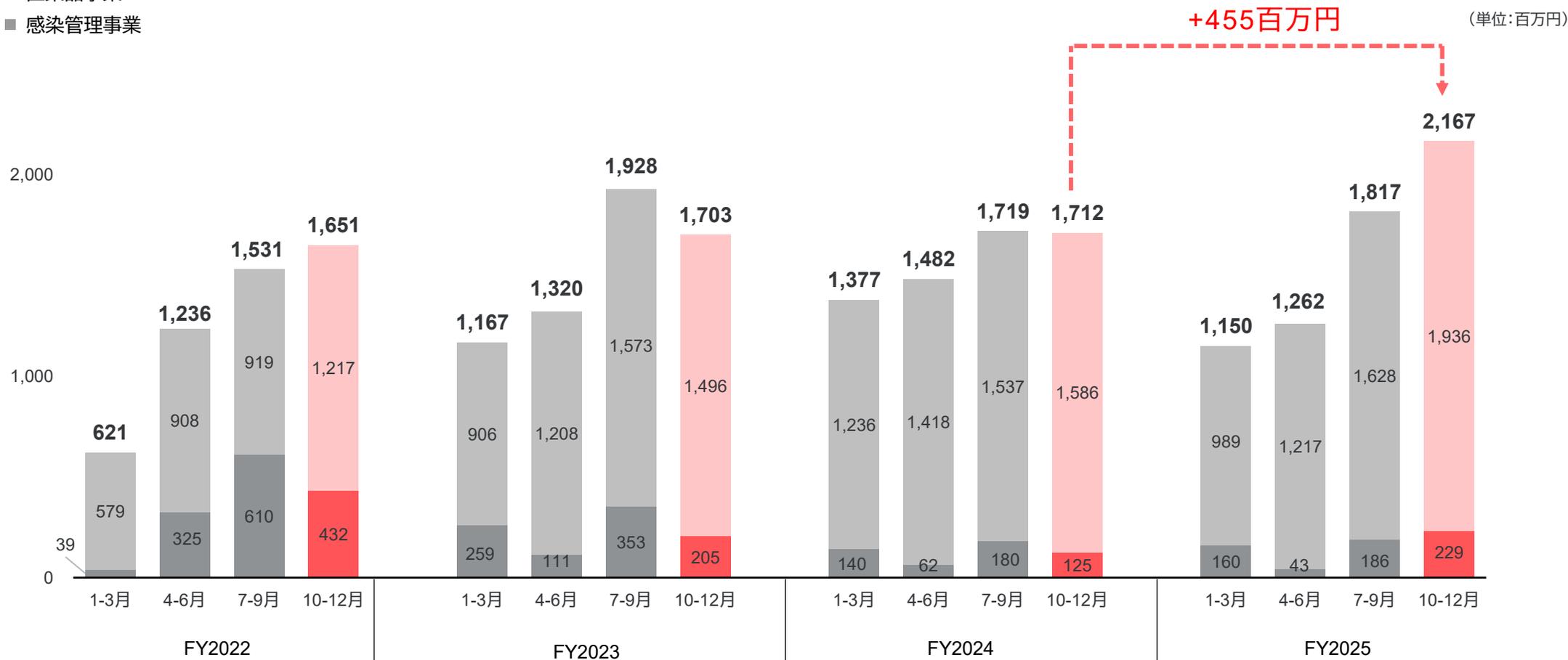
(単位:百万円)

	FY2024		FY2025		増減額	増減率
	通期実績	売上比	通期実績	売上比		
売上高	6,292	-	6,397	-	+104	+1.7%
売上総利益	3,666	58.3%	3,481	54.4%	△185	△5.1%
販売費及び一般管理費	3,036	48.3%	3,022	47.2%	△14	△0.5%
営業利益	629	10.0%	459	7.2%	△170	△27.1%
経常利益	688	10.9%	482	7.5%	△205	△29.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	898	14.3%	923	14.4%	+24	+2.8%

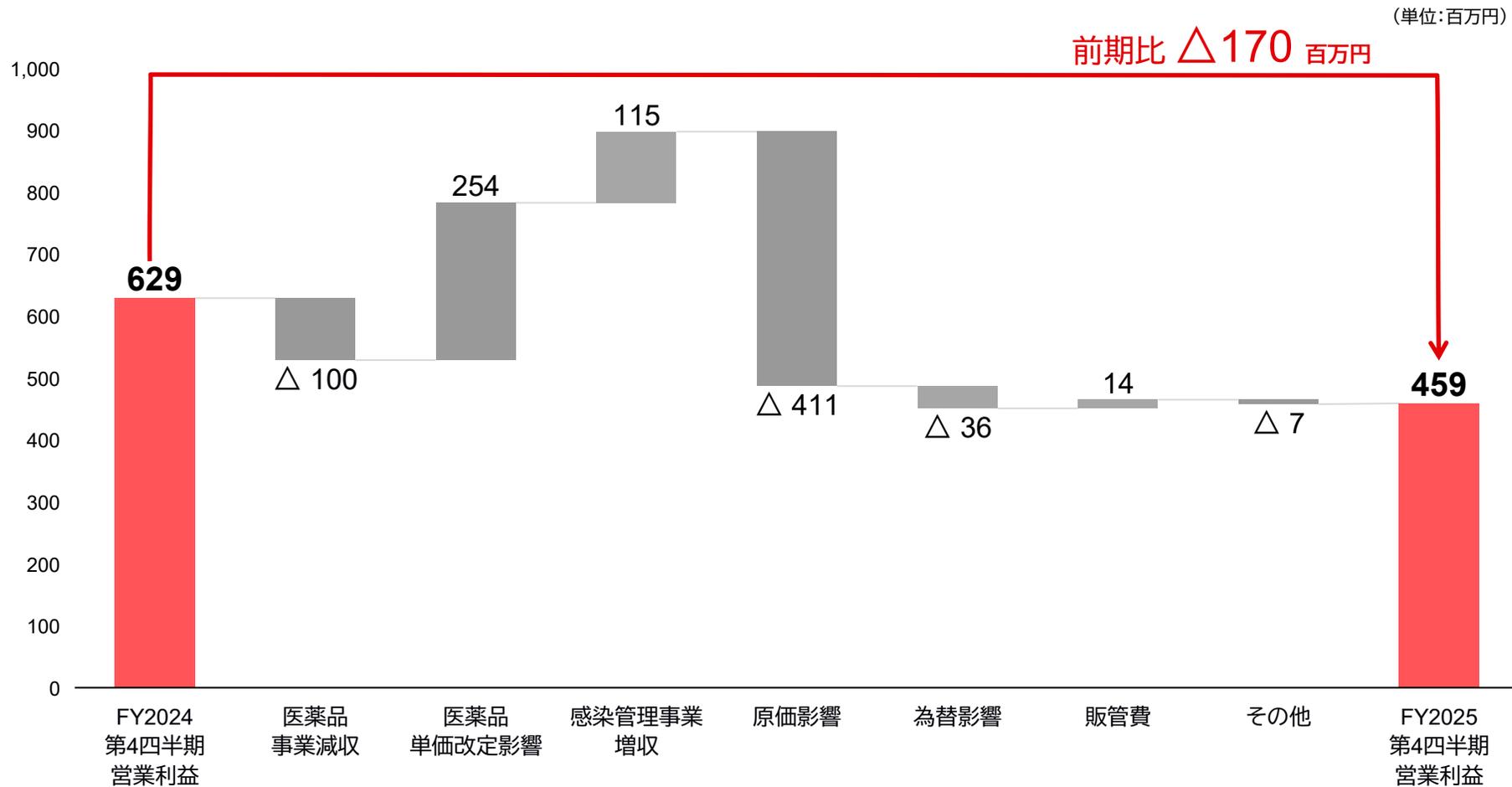
連結売上高推移(四半期)

- 医薬品事業は、海外向けの出荷が寄与し、対前年同期比では大幅増
- 感染管理事業は、インフルエンザの流行が早く始まったことを受け堅調に推移

■ 医薬品事業
■ 感染管理事業



- 医薬品事業において、正露丸出荷数量減による減収があったものの、単価改定影響や感染管理事業の増収が寄与
- 原価影響では、原料・資材の値上げ影響に加え、正露丸の供給体制強化に向けた費用の増加があるものの、概ね計画の範囲内で推移



- 広告宣伝費や研究開発費は増加も、運送費や人件費の減少により、販管費全体では前期比14百万円の減少

(単位:百万円)

	FY2024		FY2025		増減額	増減率
	通期実績	構成比	通期実績	構成比		
販売費及び一般管理費合計	3,036	-	3,022	-	△14	△0.5%
販売費	900	29.7%	907	30.0%	+7	+0.8%
広告宣伝費	624	20.6%	654	21.7%	+29	+4.8%
販売促進費	143	4.7%	146	4.9%	+3	+2.4%
運送費	133	4.4%	106	3.5%	△26	△19.8%
人件費	1,254	41.3%	1,198	39.7%	△55	△4.4%
その他経費	881	29.0%	915	30.3%	+33	+3.8%
研究開発費	183	6.0%	208	6.9%	+25	+14.0%
支払手数料	301	9.9%	316	10.5%	+14	+4.7%

- 特別利益では投資有価証券売却益347百万円と為替換算調整勘定取崩益140百万円を計上

(単位:百万円)

	FY2024 通期実績	FY2025 通期実績	前期比	増減要因等
営業利益	629	459	△170	
営業外収益	86	37	△48	前期比 為替差益の減少等
営業外費用	28	14	△13	
経常利益	688	482	△205	
特別利益	210	502	+291	前期:受取補償金200百万円 当期:投資有価証券売却益347百万円 為替換算調整勘定取崩益140百万円
特別損失	333	27	△306	前期:医薬品事業における生産体制の再編関連 ・生産設備等の減損損失239百万円 ・移設撤去費用等引当金繰入額88百万円
税金等調整前当期純利益	565	958	+392	
法人税、法人税等調整額	△332	34	+367	
親会社株主に帰属する 当期純利益	898	923	+24	

- 長期借入金の返済や親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により、自己資本比率は、61.7%⇒69.4%へ向上

(単位:百万円)

	FY2024 期末	FY2025 期末	前期比	増減要因等
流動資産	8,761	8,433	△328	
現金及び預金	4,532	4,256	△275	
売上債権	2,428	2,450	+22	
棚卸資産	1,676	1,619	△57	医薬品在庫 1,484百万円 感染管理在庫 124百万円
固定資産	4,152	3,837	△314	投資有価証券売却による減少
資産合計	12,914	12,270	△643	
流動負債	2,855	2,509	△345	
固定負債	2,094	1,242	△851	長期借入金の返済 退職給付に係る負債の減少
純資産	7,964	8,518	+553	親会社株主に帰属する当期純利益 の計上等
負債純資産合計	12,914	12,270	△643	
自己資本比率	61.7%	69.4%		

■ 営業キャッシュ・フローは堅調に増加

(単位:百万円)

	FY2024 通期	FY2025 通期	主な要因 (FY25)	
営業CF	362	814	税金等調整前当期純利益	958
			減価償却費	265
			仕入債務の増加	77
			賞与引当金の増加	71
			棚卸資産の減少	57
			投資有価証券売却益	△347
			為替換算調整勘定取崩益	△140
			移設撤去費用等引当金の減少	△88
投資CF	△5	142	投資有価証券売却による収入	447
			設備投資による支出	△304
財務CF	△1,181	△1,227	長期借入金の返済	△1,206
			リース債務の返済による支出	△20
現金・同等物換算差額	112	△5		
キャッシュ増減 ※1	△712	△275		
キャッシュ期末残高	4,532	4,256		

※1 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額



2. セグメント別事業概況

- 医薬品事業 : 減収減益となったものの、概ね計画通りの売上・利益を達成
- 感染管理事業 : 増収に加えコスト低減により、セグメント損益は着実に改善

(単位:百万円)

		FY2024 通期実績	FY2025 通期実績	増減額	増減率
医薬品事業	売上高	5,778	5,771	△6	△0.1%
	セグメント損益	1,947	1,573	△374	△19.2%
	利益率	33.7%	27.3%	-	-
感染管理事業	売上高	508	619	+110	+21.8%
	セグメント損益	△467	△254	+213	-
	利益率	△92.0%	△41.0%	-	-
その他事業	売上高	5	5	+0	+12.3%
	セグメント損益	△12	△22	△10	-
	利益率	△239.5%	△384.3%	-	-

- 需要は堅調に推移するも、正露丸は供給制限の影響により減少
- セイロガン糖衣Aは、供給課題が解消したことや、携帯用の上市に伴うプロモーション施策効果により前期比で増加

(単位:百万円)

製品カテゴリー別売上高	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	通期実績	通期実績		
国内医薬品事業売上高	3,556	3,505	△50	△1.4%
正露丸	1,978	1,722	△256	△12.9%
セイロガン糖衣A	1,760	2,015	+254	+14.5%
正露丸クイックC	319	272	△47	△14.8%
その他 ※1	107	117	+9	+8.9%
返品・値引・協賛等	△610	△622	△11	-

※1 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」

正露丸



セイロガン糖衣A



セイロガン糖衣A 携帯用



正露丸クイックC



ラッパ整腸薬BF



ピシヤット下痢止めOD錠



- 国内市場との製造スケジュール調整の影響を受けるも、予定通り出荷を行い、前期比増収

(単位:百万円)

地域別売上高	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	通期実績	通期実績		
海外医薬品事業売上高	2,222	2,266	+44	+2.0%
中国	834	853	+19	+2.3%
香港	1,085	1,015	△70	△6.5%
台湾	239	292	+53	+22.3%
その他対象エリア ※	62	104	+41	+65.8%

※ 米国、カナダ、タイ、マレーシア、モンゴル等

SEIROGAN®

正露丸



セイロガン糖衣A



- JSA規格適合製品の出荷開始により、売上高は安定した水準を維持
- 例年より早いインフルエンザ流行も追い風となり前期比で増収

(単位:百万円)

対象顧客別売上高	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	通期実績	通期実績		
感染管理事業売上高	508	619	+110	+21.8%
国内一般用	497	573	+76	+15.3%
国内業務用	197	186	△10	△5.6%
海外	36	50	+14	+39.7%
返品・値引・協賛等	△221	△190	+31	-

一般用

業務用





3. 通期業績予想と実績値との差異

通期業績予想と実績値との差異

- 売上高は、感染管理事業における増収や為替影響により業績予想を上回って着地
- 利益面では、原価・販管費の削減や退職給付費用の減少により、各利益も予想を上回り着地

(単位:百万円)

	FY2025 前回予想	FY2025 実績	増減額	増減率	(参考) FY2024 実績
売上高	6,300	6,397	+97	+1.5%	6,292
医薬品事業	5,745	5,771	+26	+0.5%	5,778
感染管理事業	550	619	+69	+12.7%	508
その他	5	5	+0	+17.3%	5
営業利益	300	459	+159	+53.1%	629
経常利益	300	482	+182	+61.0%	688
当期純利益	580	923	+343	+59.2%	898



4. 次期の業績予想と今後の取り組みについて

企業理念

大幸薬品は「自立」、「共生」、「創造」を基本理念とし、世界のお客様に健康という**大きな幸せ**を提供します。

2026~2028

成長への戦略転換

~2025 構造改革期

収益構造の抜本的改革と
ガバナンス体制の強化

主な実績:

- ・組織のスリム化
- ・財務体質の改善
- ・固定費の削減
- ・ガバナンス体制の強化

~2035

Global TAIKO

- ・海外売上の向上
- ・新製品売上の向上
- ・低濃度二酸化塩素ガスの社会実装の推進

時価総額1,000億円以上へ

アジアの胃腸薬市場における
No.1を目指すポジションへ

Phase
01

Phase
02

Phase
03

Point

01 医薬品事業への投資集中



Point

03 資本コストを意識した 事業ポートフォリオマネジメント

感染管理事業の着実な黒字化に向けた取り組み

Point

02 新製品・新規事業への戦略的投資

新たな新製品・新規事業開発体制

Point

04 組織文化の変革と人的資本経営の推進

新たなビジネス創出につながる組織力を強化

2028年度
目標

<売上高>
85億円

<営業利益>
10億円

<ROE>
10~11%以上

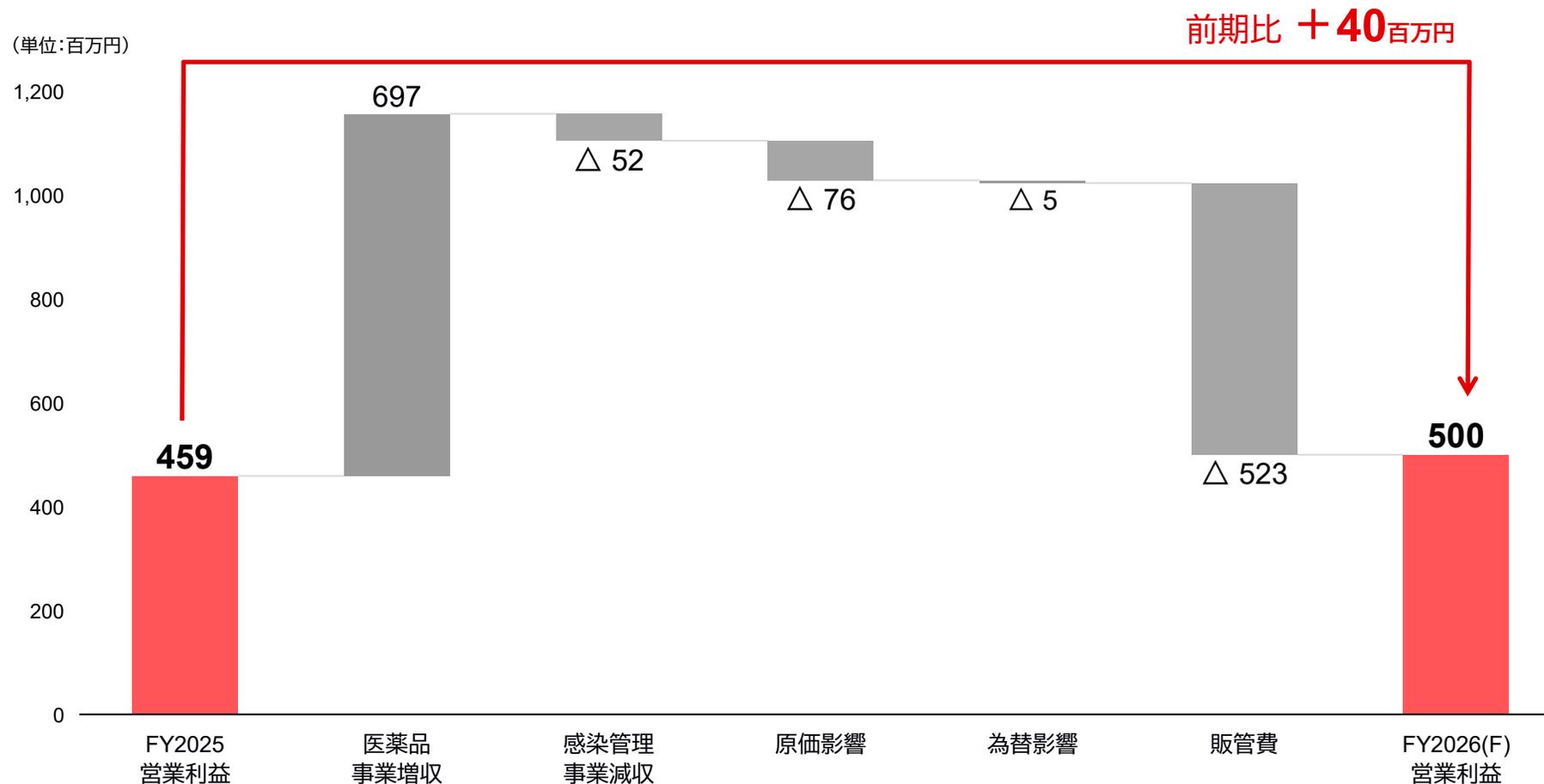
<株主還元>
DOE3.0%以上

- 売上高は医薬品事業で大幅増収を見込む
- 中期的な売上拡大に向け、ブランド投資を強化しつつ増益を目指す

(単位:百万円)

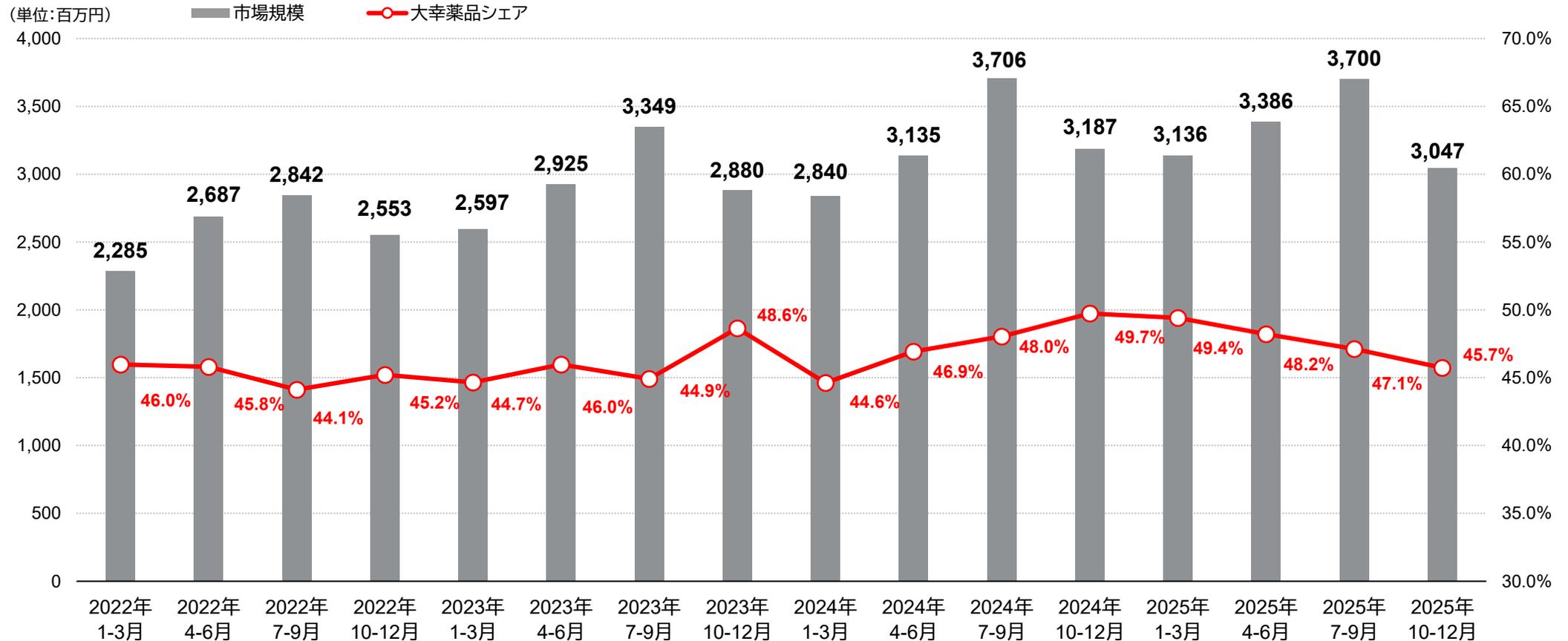
	FY2025 実績	FY2026 業績予想	増減額	増減率
売上高	6,397	7,200	+802	+12.5%
医薬品	5,771	6,695	+923	+16.0%
感染管理	619	500	△119	△19.3%
その他	5	5	△0	△14.8%
営業利益	459	500	+40	+8.9%
経常利益	482	520	+37	+7.7%
当期純利益	923	550	△373	△40.4%

- 医薬品事業において、特に海外事業での増収影響による増益を計画
- 販管費は、主に中期計画の売上達成に向けた国内及び海外のラップブランド強化に係るマーケティング費用の増加を見込む



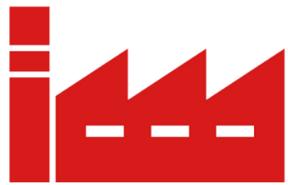
- 2025年度の市場全体は前期比+3.1%と堅調も、足元では価格改定影響が一巡したことや他社製品の供給再開、当社正露丸の供給不足により市場規模及びシェアは微減

国内止瀉薬市場



※出所:株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

正露丸
供給強化



正露丸



糖衣A・クイックC
販売強化



セイロガン糖衣A 携帯用

正露丸クイックC



2028年売上目標

43億円
(25年比+22.8%)

- 正露丸の供給量増加に向け、重要な「生産能力向上」を2026年に実施する計画

生産能力向上に向けた進捗

- 2025年:プロジェクト始動、2工場体制に向けた設備移設等を完了
- 2026年:下期以降の生産能力をアップさせる計画

製丸機の稼働台数
4台→6台

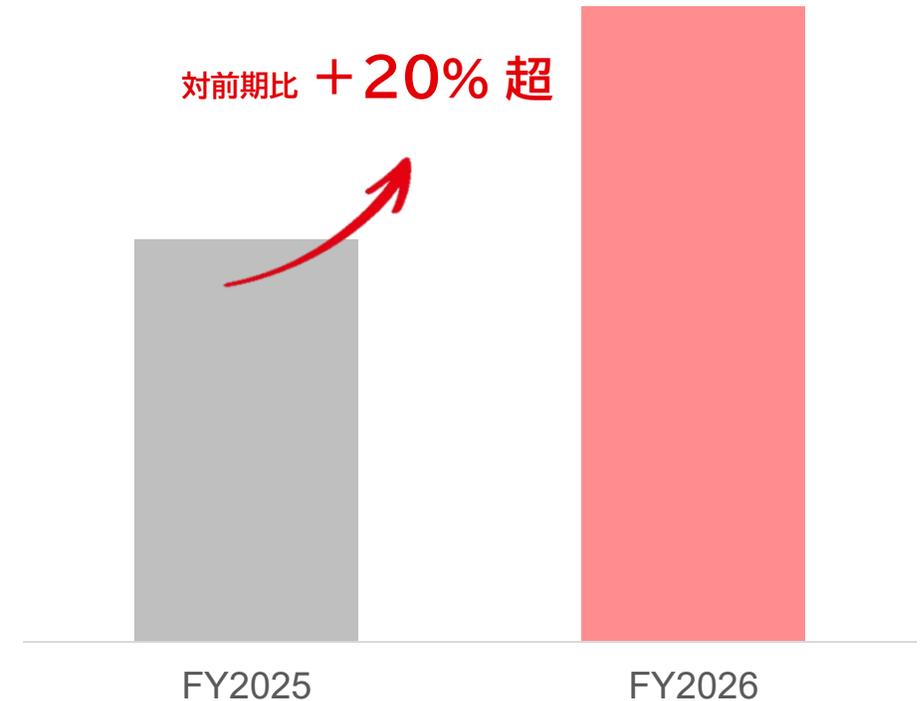
製造リードタイム
短縮に向けた改善

正露丸の生産数量



※国内向け、海外向けの合算

対前期比 +20% 超



ブランド
イメージ

いつでも、どこでも※2 お腹悩みと言えば『正露丸』

①ブランド投資方針



②使用シーンの拡大



※1 当社正露丸、セイロガン糖衣Aとの比較
※2 用法用量を守って服用ください

- 正露丸の供給増加に合わせて、2026年度は大幅な増加(+8.3億円)を見込む
- 中期計画で掲げた「中華圏での成長」実現に向けて販売・マーケティングを強化

<海外売上高>

対前期比 **+8.3億円**
(+37.6%)

2025年実績

22.6億円

2026年予想

30.9億円

Product (製品)

- セイロガン糖衣Aの新製品を中国市場に投入し、製品ポートフォリオ拡充
- 糖衣Aのパッケージデザイン・リニューアル(正露丸とのブランド・イメージ統一2026年予定)

Price (価格)

- 採算性改善に向けた価格改定を予定

Promotion (プロモーション)

- 更なる顧客基盤の拡大に向けて、ブランド投資を強化



感染管理事業の黒字化に向けて着実な取り組み

収益改善

- 不採算商流の見直しや販売費の削減
- その他固定費も継続的な見直し

BtoC領域 (一般用)

- 浮遊ウイルス低減効果を測るJSA規格への適合を受け、商品の信頼性向上施策を継続

BtoB領域 (業務用)

感染管理事業の黒字化を支える収益基盤を目指す

- 清掃業界に加え、クレベリンパウチタイプによる葬儀業界の受注増



クレベリン置き型



クレベリンpro スティック



クレベリンパウチ

- ラッパのマークの『正露丸』を環境配慮型パッケージへ
～添付文書をペーパーレス化し、外箱裏面表示へ変更～



「正露丸100粒」
新パッケージ

「正露丸100粒」
旧パッケージ



- 添付文書の裏面印刷による紙資源の削減
- QRコード®の追加
- 2025年12月下旬出荷分より順次切り替え

- 創業の地・大阪府吹田市の小学校5校に防災ホイッスル約2,000個を寄贈

ラッパ × 防災 = 「音の備え」

- 創業80周年となる「常備薬」メーカーとして「備えること」の大切さを啓発
- 「防災に関する意識調査」では非常食や電源などの「生活を維持するための備え」は進んでいる一方、災害時に自分の存在を知らせるための「救助を求める備え」の準備率は17%という結果

▼贈呈式



▼防災ホイッスル



▼防災講座



- 2020年12月期以来、5年ぶりに配当を再開(2025年度 1株当たり3.3円)
- 中期経営計画の配当方針通り、2026年12月期は予定通り、DOE2.0%以上の配当を計画

配当推移



2026年度 配当予想
1株当たり **3.5円**



大幸薬品

将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません